

花と緑の情報をお届けします

take free



グリーン・スケッチ

Green Sketch

2009年 秋号 No.43

contents

- ③ 植物に親しむ 秋の園芸作業のポイント
- ④ にいがた秋の散歩道
- ⑤ アドバイザーだより
- ⑥ 読者の広場
- ⑦ 緑花センター掲示板



にいがた「緑」の百年物語に
参加しています。
<http://www.midori100.com>

特集 公園の魅力探訪 [公園施設編]

ハードオブ エコスタジアム新潟

東北電力ビッグスワンスタジアムから見た
ハードオブ エコスタジアム新潟



財団法人 新潟県都市緑花センター

新潟県スポーツ公園の南側に本格的なベースボールスタジアムが誕生しました!

ハードオフエコスタジアム新潟

1996年の「近鉄対西武」戦以来13年ぶりとなるプロ野球公式戦で、球場のこけら落としとなった7月7日、8日の「広島対阪神」の2連戦では両日とも約3万人にお越し頂き、球場は大いに盛り上がりました。その後、全国高校野球選手権県予選の開会式や準々決勝から決勝戦、BCリーグ、その他各種大会がこれまで行われました。また、9月下旬には、国体の高校野球（硬式）も開催されます。そして

イベントや大会の開催

ハードオフエコスタジアムのデザインコンセプトは、鳥屋野潟の水の波紋をイメージしており、スタジアム外観の青い帯が水の波紋として表現されています。また、球場内エントランスの壁面は、まるで水の中にあるかのような美しいデザインになっています。

外野スタンドの外側に隣接した芝生の広場（写真5）は、大規模イベントやプロ野球の開催時に外野スタンドと広場の間の出入口を開放し、お子様と遊んだりしながら観戦できる空間となっています。

また、1塁側と3塁側には約1,000m²の屋内練習場もあり、雨や雪など天気の安定しない中でも十分な練習を行うことができます。

特色は？

内野スタンドに約20,000席、外野スタンドに約10,000席を有しており、約3万人を収容できる規模は県内最大です。グラウンドは、ホームからセンター間122m、両翼間100m、面積約14,300m²の広さがあり、フィールドは県内初の全面人工芝です。神宮野球場と同じ最新型のロングパイル人工芝が使用されています。そして、本格的なナイター照明設備（写真4）を完備しています。

野球場はこんなところですよ

ハードオフエコスタジアムは新潟市中央区長潟に位置し、周辺一帯に田園が広がる環境にあります。スタジアムの周囲はバス・タクシー乗り場や駐車場、エントランス広場（写真1）、プロムナード（写真2）などが配置されています。また、道路を挟んだ向かいのビッグスワンとは、連絡通路で安全に行き来できるようになっています。

スポーツの一大拠点、新潟県スポーツ公園

国体開催



今年は、第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」及び第9回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」が開催されます。当センターが管理運営する公園も開催会場となり、選手や観戦される皆様が気持ちよく利用できるよう努めてまいります。また、国体開催のため、公園施設が利用できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

トキめき新潟国体

平成21年9月26日(土)～10月6日(火)の11日間

会場	内容・種目	日程
東北電力ビッグスワンスタジアム(新潟市)	開会式	9/26(土)
	閉会式	10/6(火)
	サッカー(少年男子)	9/27(日)、9/28(月)、10/1(木)
	陸上競技	10/2(金)～10/6(火)
県立雲雀寺記念公園 多目的運動広場(新潟市)	サッカー(女子、成年男子)	9/27(日)～10/1(木)
ハードオフエコスタジアム新潟	公開競技: 高校野球(硬式)	9/27(日)～9/30(水)

※公開競技の高校野球(硬式)は、一般500円、高校生100円の入場料が必要。中学生以下は入場無料。

トキめき新潟大会

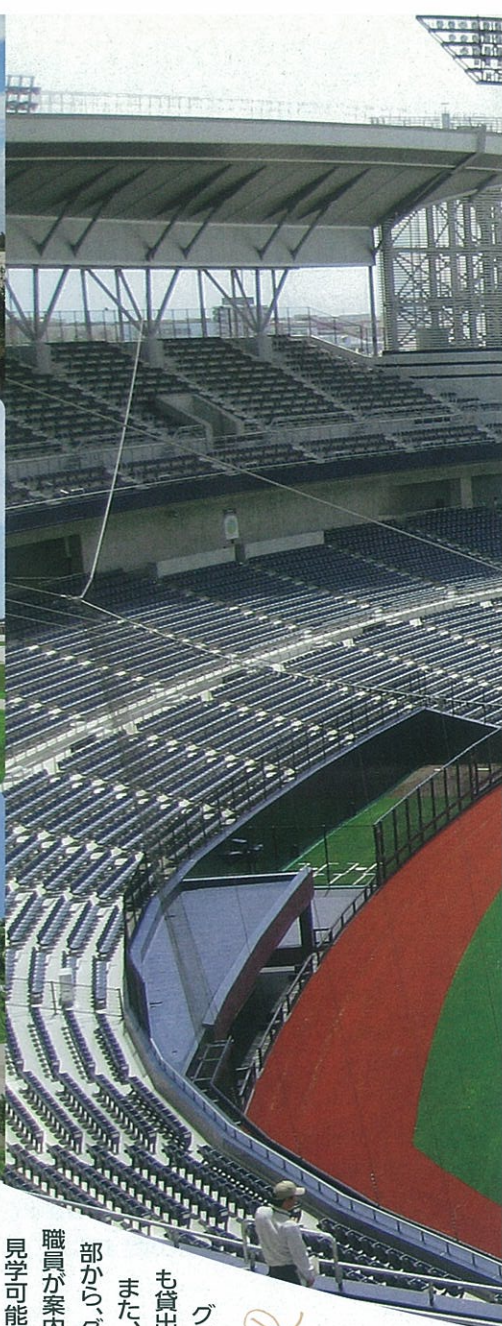
平成21年10月10日(土)～10月12日(月・祝)の3日間

会場	内容・種目	日程
東北電力ビッグスワンスタジアム(新潟市)	開会式	10/10(土)
	陸上競技	10/10(土)～10/12(月・祝)
新潟県スポーツ公園 多目的運動広場(新潟市)	ソフトボール	10/10(土)～10/12(月・祝)
	フットベースボール	10/10(土)～10/12(月・祝)

国体メモ

国民体育大会は、戦後の荒廃と混乱の中、スポーツを通して国民に勇気と希望を与えようと、昭和21年に京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されました。

45年ぶりに新潟県内で開催される国民体育大会は、県内26市町村で38の正式競技と4つの公開競技が開催されます。正式競技は都道府県対抗により得点を競う競技で、公開競技は得点の対象とならない競技です。



担当職員からのPRコメント

野球ファンだけでなく、多くの皆様が待ち望んだ県立野球場が完成し、利用が開始されました。プロ野球、高校野球予選、Bリーグと野球場完成から様々な大会が矢継ぎ早に開催され、その熱気がとぎれることがありません。それだけ県内の皆様の野球への思いが強いということだと実感しています。

野球場の聖地として、また県民の新たなスポーツの拠点としてこの野球場を育んでいきたいと思っております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

スタジアムの利用や施設見学について

グラウンドなどの利用は、県内広域規模の大会などを除いた利用可能な日を一般の皆様にも貸出しています。

また、スタジアムの自由見学、案内員付き見学も開始しました。自由見学は、内野スタンドの一部から、グラウンドを望むことができます。案内員付き見学は、普段見ることが出来ない施設内を職員が案内しながらツアー形式で1時間程度の見学を行うものです。

見学可能日や、グラウンド利用の申込み方法については、ホームページをご覧ください。

※自由見学 9時30分～16時30分
案内員付き見学 ①9時～②11時、③13時30分、④15時30分の4回 料金無料。



ハードオフ エコスタジアム新潟

住所:新潟市中央区長潟570番地
問い合わせ:TEL.025-287-8900
指定管理者:アルビレックス新潟・都市緑花センターグループ
<http://www.hardoff-eco-stadium.jp/>

公園をご利用される際は、必ずルールを守ってご利用ください。

交通アクセス

車で

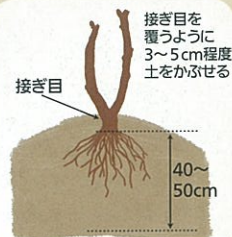
北陸自動車道新潟中央ICから約5分
日本海東北自動車道新潟亀田ICから約5分
国道8号線新潟バイパス女池ICから5分
国道49号線亀田バイパス 姥が山ICから7分

路線バスで

JR新潟駅南口から約20分、
スポーツ公園前下車

ボタン

植え穴は大きめに掘り、掘り上げた土に3~4割の量の完熟堆肥、腐葉土をよく混ぜます。根を傷めないよう注意して株を植え付けます。この時、接ぎ目が3~5cm程度隠れるように土をかぶせます。植え付け後は軽く水やりし、春先まで少なめに水やりします。



メモ

ボタンはシャクヤクの台木に接がれているため、根はシャクヤクのもので、株が大きくなりつづいて、シャクヤクの根が少なくなり、接ぎ目からボタンの根が伸びてきます。このため、接ぎ目より上まで覆土してボタンの根が発生しやすいように植えることが必要です。

庭植えのポイント

夏涼しく、排水、日当たり、風通しのよい場所を選びます。よく土を掘り返してやわらかくし、根の通気性を確保します。水はけが良いことが大切なので、庭植えの場合は少し土を高く盛って植えるとよく生育します。

水やり

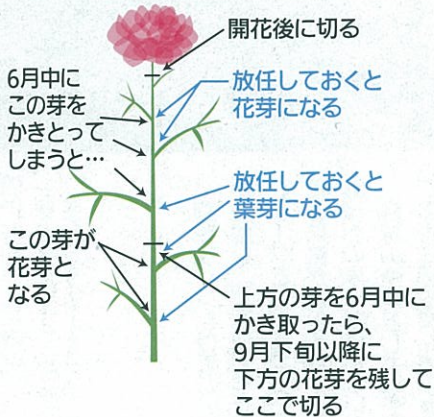
乾燥のしすぎと過湿を嫌います。水ぎれを繰り返すと樹勢が衰えるので、注意が必要です。春先と秋は乾いたら十分に、5~6月は1日1~2回たっぷり、7~9月は午前中の涼しいうちに十分水やりします。

肥料

9月下旬~10月、3月、花後の5~6月に施します。夏の高湿多湿期の施肥は生長が止まり、根を傷めやすいので避けます。油かすや化成肥料などを株のまわりに施します。ボタンは多肥を好みますが、一度にたくさん与えるのではなく、肥料ぎれを起させないことが、花つきをよくするコツです。植え付けした時は肥料は施しません。

花後の花がら摘みと芽かき

花後に花びらが落ちないうちに子房ごと花を摘み取ります。同時に、下方の2~3芽を残して上方の芽を取り除きます。花芽は普通、枝の上の方につきますが、芽をかきとると下にできます。こうすることで下の芽が花芽になり、樹形がコンパクトになります。植え付けて1年目は、花を咲かせると株が衰弱するため、蕾がふっくらしてきたら切り除きます。



剪定

生長して枝葉が込むと、日当たりや風通しが悪くなり、病虫害の原因や花つきが悪くなるので剪定をします。9月下旬以降に、春の芽かきで残した芽の少し上で剪定します。枯れ枝や込みすぎた枝も整理します。

植物に親しむ

秋の園芸作業のポイント

9月23日の秋分の日、昼夜の時間がほぼ等しくなる日で、この日を境に日は短くなっていきます。また、秋分の日と前後3日間をあわせた7日間が秋の彼岸で、「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、この時期を過ぎると、本格的な秋をむかえます。

シャクヤク

基本的に植え付けや植え場所、施肥はボタンと同様ですが、シャクヤクの植え付けの際、株元の芽が2cm程度埋まるように植え付けます。

株分け

株が混みすぎてくると、しだいに花芽が少なくなってきますので、株分けをします。植え付け同様、10月中旬が適期です。掘り上げた株は、太い根を傷つけないよう注意しながら土を落とし、1株4~5芽くらいに切り分けます。切り口や折れた根先に殺菌剤を必ず塗っておきます。

刈り取り

冬は地上部が枯れて休眠しますので、秋に株全体の葉が黄変し、枯れ込みが始まったら地上部を刈り取ります。冬越しに備えマルチングします。

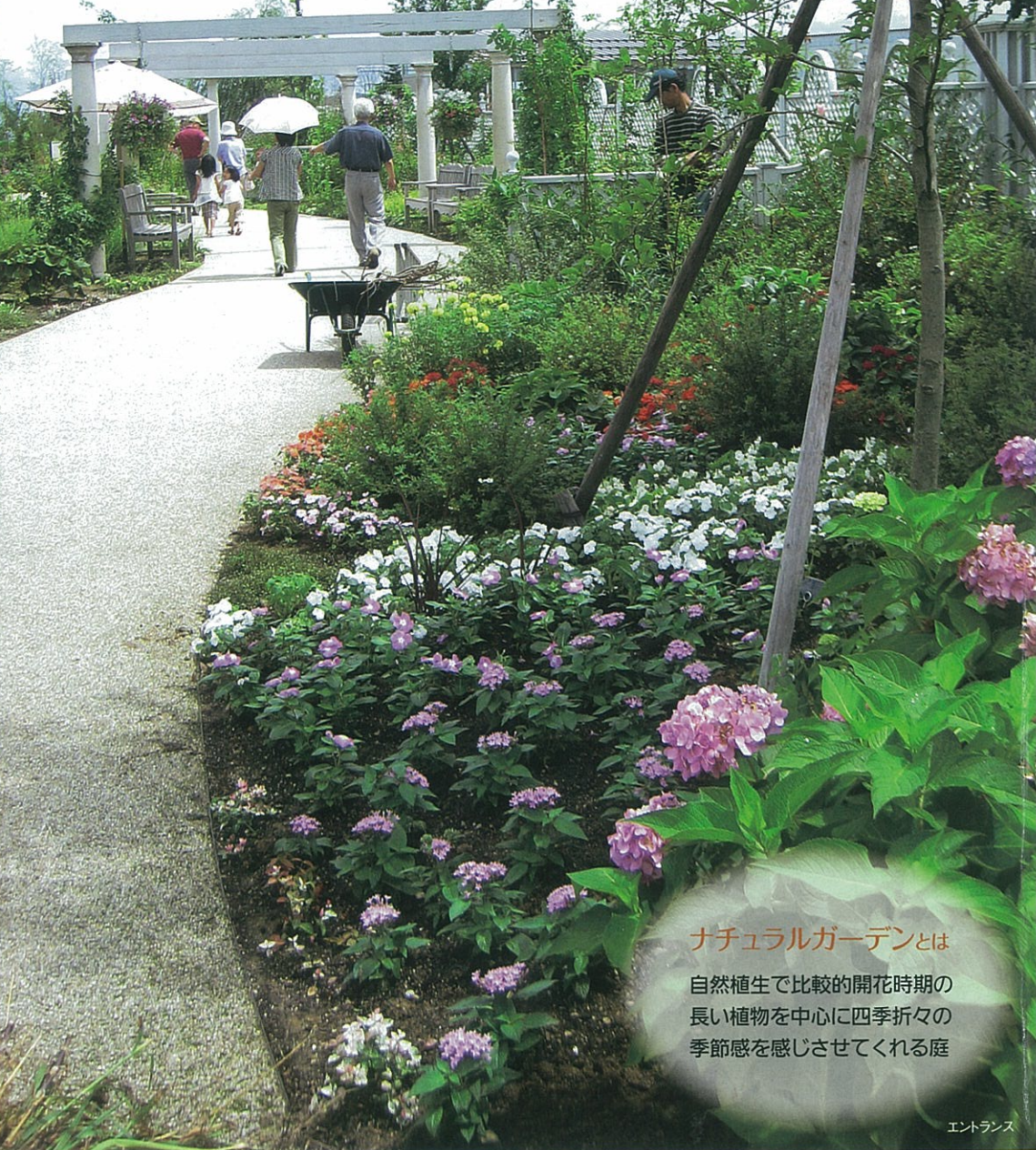
ボタンとシャクヤクの栽培

今回は、ボタンとシャクヤクの植え付けについてご紹介します。ボタンとシャクヤクはボタン科ボタン属の植物ですが、ボタンが落葉低木なのに対して、シャクヤクは冬には葉も茎も枯れて地上部がなくなってしまう多年草です。ボタンが5月中旬、その後シャクヤクが6月まで大輪の花を咲かせます。植え付けはともに、9月下旬から10月が適期です。この時期に行う理由は、生育の衰える暑い夏を過ぎ、気温、地温が下がってくるにつれて根の活動が活発になるため、寒さの前に植え付けることでよく根を張らすことができます。春、開花後の植え付けは、新しい根が十分伸びないうちに苦手な夏になり、衰弱するため厳禁です。

にいがた
秋の散歩道

みつけ イングリッシュガーデン

今回は、見附市に開園した公園を
ご紹介します。



ナチュラルガーデンとは

自然植生で比較的開花時期の長い植物を中心に四季折々の季節感を感じさせてくれる庭

エントランス

見附市では、快適に住みよいまちづくりを推進するため、**ナチュラルガーデン**の取り組みを行っています。公共施設や家庭の庭など市内にナチュラルな空間を浸透普及し、その広がりによって見附市の景観をより魅力あるものとなるよう計画が進められています。

その取り組みの1つとして、見附市新幸町の中部産業団地の一角に公園がつくられ、今年の6月26日に全面開園しました。公園のデザイン・監修は、英国園芸研究家のケイ山田さんが手掛けられました。

広さは約2.2ヘクタール。園内は3つのエリアからなり、約400種の植物が春から秋まで次々と開花します。

正面ゲートからエントランスに入ると、ポーターガーデンがあり、園路沿いに植えられた様々な植物を觀賞することができます。ここを通り抜けると、広々とした芝生広場に到着します。鯉が泳ぐ池や、広場の中央にはバラのパーゴラが設置され、さらにその奥にはロックガーデンや展望台があります。

小さなお子様連れの方は、子ども広場の複合遊具やブランコで楽しめます。お花の好きな方には、寄植えやハンギングバスケット、花壇の草花の組み合わせや色づかい、使用資材など、ご家庭のガーデニングの参考になるのではないのでしょうか。園内では公園サポーターのナチュラルガーデンクラブの皆さんが植物の手入れなどの活動を行っています。

ゆったりとした快適なトイレ棟や、個性的な遊具、デザインの良いベンチなど、園内全体に緑や花があふれ、ゆとりのある心地よい空間となっています。

この秋はぜひイングリッシュガーデンにお出かけください。



正面ゲート



ガーデンテントから池を望む

みつけイングリッシュガーデン

住所:見附市新幸町35番地

開園時間:午前8時40分~日没まで

12月から3月までは閉園

入園料:無料 駐車場:トイレ有

問合せ先:見附市建設課

TEL.0258-62-1700

交通アクセス



車で

関越自動車道・中之島見附ICから3分。

インター降りて国道8号線を新潟方向に進み、見附大橋を渡って最初の信号を右折、新幹線高架下すぐ

花と緑のアドバイザーだより

当センターの「花と緑のアドバイザー」の方々から
専門分野や緑化活動を通じて、
花と緑のまちづくりや県内の緑化をテーマにお話を伺います。

トキは悠然、ヒトはあたらふた

佐渡トキ保護センター 戸貝純夫

新潟県民の皆様にはご存じの方も多いとは思いますが、日本産のトキは昭和56年、最後に佐渡に残った5羽が全羽捕獲されたことにより、それ以降自然の中にその姿を見ることはできなくなりました。その後、中国の協力を得ながら人工繁殖を試みるもののがまもなく行かず、平成15年に最後の日本産のトキ「キン」が死に、日本産トキは絶滅しました。

その一方、平成11年に中国から日本へ贈られたつがいのヨウヨウ、ヤンヤンに翌12年、待望の子供が一羽生まれます。ユウユウと名付けられたそのオスの子に、また中国からお嫁さんが贈られ、その子たちと先のヨウヨウ・ヤンヤンの子たちの間でつがいを組ませることで、佐渡トキ保護センターでのトキの増殖は軌道に乗り、平成19年には飼育数が100羽を超えるまでになりました。

トキが順調に繁殖する中、国はトキの野生復帰について、平成27年頃に小佐渡東部に60羽のトキを定着させる、という目標を立て、これに基づいて、佐渡トキ保護センター野生復帰ステーションが建設されました。施設のメインとなる順化ケージは棚田を模した50m×80mという大空間で、平成19年7月

からトキを放して野生順化訓練を始めました。

ところで、現在の佐渡トキ保護センターは国の施設ですが、その運営については、トキ保護増殖事業という事業を国が新潟県に委託する形で実施されています。また、野生復帰ステーションには環境省佐渡自然保護官事務所が併設され、野生復帰訓練や放鳥トキのモニタリング、野生復帰にかかわる地元対策を所管しています。

さて、順化ケージでの1年以上の訓練期間を経て、平成20年秋に試験放鳥として10羽のトキが、27年ぶりに佐渡の空に羽ばたきました。その後



注射器で人工給餌を受けるヒナ

の放鳥トキの行動はマスコミでご存じのとおり、8月中旬現在4羽のオスが佐渡島内、3羽のメスが本土でそれぞれ元気に生息しています。あたらふた右往左往する人間を尻目にトキは悠然とわが道を行くようにも映ります。否、本土のギャラリーの白熱ぶりには辟易か？

それにしても、なぜ、メスはばかりが海を超えたのか？動物生態の専門家の話では鳥類が生息域を広げていく際、メスがパイオニアとしてまず外

へ出ていく傾向があるのだそうですが、それにしてあまりに極端な結果に、何か特別な原因があるのではと諸説紛々。今後の解明が待たれるところです。

この文章が皆様のお目に留まる頃には第2弾の放鳥が済み、その動向がまた報道されていることと思います。今回は初回のハードリリース（1羽ずつ入れた箱を開けて放す）と違って、棚田跡地のビオトープに設置した仮設ケージに集団で飼い、状況に慣れた頃にネットを開放して、トキが自然に飛び立つというソフトリリースとなります。これにより、放鳥されたトキがうまく群れを形成し、佐渡に落ち着いてくれることを期待しています。

しかし、野生復帰の取り組みは、単にトキをたくさん野に放せば良いわけではなく、餌場やねぐらとなる自然を取り戻していく生息環境整備が不可欠で、その環境が維持されていくシステム作りも必要です。飼育下での繁殖が軌道に乗るにも二十年あまりの歳月がかかっています。一朝一夕には行かないと覚悟し、息の長い取り組みをしなければならぬと感じているところです。トキの悠然を我々も見習うべきなのかもしれません。



休息時には見晴らしの良い枯れ木を好む放鳥トキ



昨シーズン順化ケージの中で誕生したヒナ

花と緑のアドバイザーとは

当センターでは、花と緑に関して優れた知識、技術、技能等をお持ちの方々を「花と緑のアドバイザー」として登録しています。花と緑の専門家の立場から、当センターの事業のサポートのほか、県内で開催される花と緑に関する各種講習会、講座など様々な緑化活動の場へ講師、インストラクターとして派遣するものです。県、市町村、学校、緑化愛護団体、企業、一般市民等が実施する緑化講座や緑化学習会等が対象です。皆様ぜひご利用ください。

戸貝純夫氏プロフィール

新潟大学農学部卒業。昭和56年に新潟県庁に入庁、森林整備や治山事業などに関わるほか、森林ボランティアの育成や青少年の環境教育に公私にわたって携わる。現在は、佐渡トキ保護センター勤務。得意分野：緑化（樹木）、育苗（樹木生産）、自然環境（森林）、その他（ネイチャーゲーム、自然素材クラフト）



読者の広場

皆様からお寄せいただいた
情報誌の感想やおすすめの公園などを紹介します。

県内の水辺のある公園紹介

読者がおすすめする

せせらぎ、
噴水など

新潟市の県立鳥屋野瀧公園では夏、子供たちがパンツ1枚になって水遊びをしています。せせらぎの音を木陰から聴いているのも涼しいです。

(アンケートハガキより 新潟市 片桐さん)

コメント

春や秋の暑い日も子どもたちは元気に水遊びを楽しんでいます。

新潟市の水の公園福島瀧は、春は桜と菜の花がとてもきれいです。広い瀧の水面と遠くの山々を見ているとんびりと落ち着きます。

(アンケートハガキより 新潟市 網島さん)

コメント

8月下旬にはソバの花が見頃だったそうです。

五泉市の粟島公園がおすすめです。噴水公園ゾーンに子供たちは大喜びでした。川底がきちんと整備されているので、素足で入っても安心です。

(アンケートハガキより 新潟市 渡辺さん)

コメント

子ども連れで安心して利用できるのは良いですね。

加茂市の加茂山公園をおすすめします。ベンチに座って池を眺めていると落ち着けます。リス園も楽しめます。

(アンケートハガキより 新潟市 寺田さん)

コメント

和風のイメージで統一された池は、紅葉の季節も見所だそうです。

その他、
鯉公園(村上市)、白山公園(新潟市)
西大畑公園(新潟市)、亀田公園(新潟市)
じゅんさい池公園(新潟市)
こどもの森公園(燕市)
吉田ふれあい広場(燕市)
国営越後丘陵公園(長岡市)、月岡公園(魚沼市)
大井田の里公園(十日町市)
万内川砂防公園(妙高市)
などの情報をお寄せいただきました。

南魚沼市坂戸にある銭淵公園は天気の良い日に一日ゆっくりできる公園です。池には鯉やカモがいて、花も春から秋まで楽しめます。

(アンケートハガキより 十日町市 水品さん)

コメント

公園の駐車場で5月から10月の日曜日、朝6時から8時に六日町温泉朝市を開催しているそうですよ。(売り切れ次第終了)

教えてください!

秋に出かけて良かったコスモスの見所、
春に向けてチューリップのおすすめスポット(新潟県内)

皆さんがお気に入りの場所をご紹介ください。その魅力も教えてください。
綴じ込みハガキの④に記入してお送りください。ファックスやEメールでも受付けています。住所、氏名、電話番号を明記し、下記までお寄せ下さい。
掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただきます。
なお、掲載させていただいた方には粗品を送ります! どしどしお寄せください。

●FAX.025-257-8766 ●e-mail center@greenery-niigata.or.jp
(添付形式にせずにお送りください)

締切:11月10日

42号『植物クイズ』当選者発表

正解は②ザイフリボクでした。
当選者は以下の方々です。
おめでとうございます。

伊藤 洋子(新潟市)
佐藤 澄子(村上市)
山崎 ひとみ(長岡市)
渡辺 義憲(新潟市)
富永 スミ子(小千谷市)



写真は何の花でしょう。
名前にキクとついていますが、
キクの仲間ではなくキンポウゲ科の
多年草です。キクに似た花を秋に咲か
せます。古く中国から渡来した帰化植物です。

- ①ユウゼンギク
- ②ハマギク
- ③シュウメイギク

答えを綴じ込みのアンケートハガキ
にご記入ください。正解者の中から
抽選で5名様に粗品を進呈します。

締切:11月10日(必着)

※記入いただいた個人情報、感想等の掲載・当選者の発表と景品の発送、および今後の誌面づくりの参考としてのみ利用します。

初めて情報誌を拝見し、植物園へでかけてきました。園芸作業のポイントも大変ためになり、ありがとうございました。
アンケートハガキより
小千谷市 横山さん

コメント
ありがとうございます。情報誌では、県内の公園や花と緑のお出かけスポットを紹介したり、花と緑のまちづくりやご家庭での参考となる情報をお届けしたいと思っています。

読者の広場を読むたびに、花や緑を愛でる人が多いことを感じます。私も四季折々の花を育てているのでグリーンスケッチは毎号とても参考になりますし、ぜひ出かけたくなる観光スポットを紹介してくれそうです。数回訪ねた県立植物園が詳しく載っておりました。美しい花たちに会いに出かけたくなりました。
アンケートハガキより 新潟市 佐藤さん

コメント
春号では、昨年12月に開園10周年を迎えた県立植物園の特集しました。10年を経て、木々も大きく生長し、緑あふれる憩いの空間となりました。秋の紅葉もきれいです。

購入したただれ桜の栽培に役立ちました。これから身近な花についての栽培方法を掲載してください。
アンケートハガキより
佐渡市 歌さん

コメント
“植物に親しむ”では、今後も家庭で楽しめる植物の育て方を取り上げていきたいと思います。

植物クイズ

クイズの答えと当選者は次号に掲載します。

緑花センター 掲示板

このコーナーでは、緑花センターの事業紹介や緑花センターが指定管理者となっている県立公園の情報をお届けします。

公園 news

秋のイベント情報などをご紹介します。
参加希望の方は、各公園事務所へ
直接申し込みください。

新潟県スポーツ公園

秋植え球根の寄せ植えづくり

- 開催日:平成21年10月24日(土)10:00~12:00
- 定員:15名 ●参加費:500円

秋の野鳥観察会 参加費は無料

- 開催日時:平成21年11月28日(土)9:00~11:00
- 定員:15名程度

みんなで楽しむクリスマス 参加費は無料 ~自然素材でオリジナルツリーを作ってみよう!~

- 開催日時:平成21年12月6日(日)10:00~12:00
- 定員:15名

問合せ 新潟県スポーツ公園 TEL025-286-1080
<http://toyanogata.greenery-niigata.or.jp>

県立紫雲寺記念公園

「しばた食のふれあいフェスタin紫雲寺」開催

地場産農畜産物の収穫祭として、野菜、パイオニアポーク等の販売、フリーマーケット、お楽しみ抽選会、ステージイベントなどが開催されます。

- 開催日時:平成21年10月24日(土)10:00~15:00
- 会場:「紫雲の郷館」芝生広場及び駐車場

花炭づくり体験 参加費は無料

- 開催日時:平成21年10月4日(日)10:00~ ●定員:15名

バラの植栽法 参加費は無料

- 開催日時:平成21年10月25日(日)10:00~ ●定員:20名

チューリップ球根植えてみ隊 参加費は無料

- 開催日時:平成21年11月1日(日)10:00~ ●定員:30名

まつぼっくりツリーを作ろう 参加費は無料

- 開催日時:平成21年12月13日(日)10:00~ ●定員:20名

問合せ 県立紫雲寺記念公園 TEL0254-41-3740
<http://shiunji.greenery-niigata.or.jp>



晩秋の植物園

県立植物園 企画展のご案内

観賞温室企画展 「古今東西 植物ものがたり展」

ギリシャ神話や世界の童話や民話、各地の伝承、新潟の言い伝えなど、世界各地の植物が登場する物語や民話などを展示紹介します。

- 展示期間:平成21年9月9日(水)~11月8日(日)

※温室入館は有料。小中学生は土日祝日無料。
月曜は休館日、ただし月曜が祝日の場合は翌日が休み。

問合せ 新潟県立植物園 TEL0250-24-6465
<http://botanical.greenery-niigata.or.jp>

緑花センター事務局からのお知らせ

写真コンテスト入賞作品展開催!

下記の日程で、2009県立都市公園・まちなか緑花写真コンテストの入賞作品展を行います。
なお、ホームページでも作品をご覧いただくことができます。

- 平成21年9月19日(土)~10月12日(月・祝)
県立植物園観賞温室(温室入館料が必要です)
- 平成21年10月14日(水)~11月3日(火・祝)
新潟県スポーツ公園 レストハウス
- 平成21年11月20日(金)~平成22年1月20日(水)
県立紫雲寺記念公園 紫雲の郷
- 平成22年3月3日(水)~3月26日(金)
新潟県庁西回廊ギャラリー

情報誌の発行が年2回になりました

情報誌はこれまで年4回発行していましたが、春と秋の年2回となりました。
回数は少なくなりますが、今後も紙面の充実に向けてまいりますので、よろしくお願い致します。

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などに配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡下さい。